

3-① 店舗の防災対策

POINT ▶ 災害の備えを書き出そう

災害の具体的な方針や行動をまとめ、共有しておくために便利なツールが、事業継続計画書を活用した防災計画書です。こちらを参考にして、お店の防災計画を実装してみましょう！

災害時行動と事業再開計画 ～発災時の行動と店舗再開を事前に決めておきましょう～

1. 目的

自然災害(地震／火災／台風／大雨／洪水／停電等)発生時に、ペットとスタッフの安全確保、店舗資産の保全、事業の早期再開を実現するための行動計画。

2. 優先順位(災害時の基本方針)

1. 自分とスタッフの安全確保
2. ペットの生命安全の確保
3. 二次災害の防止
4. 飼い主への連絡／情報提供
5. 事業継続に向けた復旧対応

3. 災害時の行動フロー(即時対応)

● 地震発生時の行動手順

- ☐ 自分とスタッフの安全確保／落下物などからの距離を確保
- ☐ 揺れが収まるまでケージを固定／落下物から距離を確保
- ☐ 火災／破損状況の確認
- ☐ ペットの点呼 → ケガの確認
- ☐ 必要に応じ避難(キャリーに収容)
- ☐ 飼い主への状況連絡(可能な場合)

● 風水害／洪水発生時の行動手順

- ☐ 事前に予約調整／預かり短縮
- ☐ 浸水の危険がある場合は高所へ移動
- ☐ 避難の判断基準:自治体の避難情報／水位情報
- ☐ 飼い主へ早期連絡

● 停電発生時の行動手順

- ☐ 施術中の場合は安全に一時停止
- ☐ 換気／温度管理(熱中症防止)
- ☐ 代替照明／充電器の使用
- ☐ 長期化時は預かり方針を調整、飼い主へ連絡

4. 必要な準備(平常時)

● 設備／備蓄備品

- ☐ キャリー(クレート)、リード、タオル、飲水、フード、簡易トイレ
- ☐ 非常用照明／モバイルバッテリー
- ☐ 消火器／防災対策／転倒防止措置
- ☐ 自分とスタッフの災害備蓄(食料、飲水、簡易トイレ)
- ☐ その他

● 情報／連絡体制

- ☐ 飼い主の連絡先を複数登録
- ☐ スタッフの緊急連絡網
- ☐ SNS／メールの一斉通知手段の確保
- ☐ その他()

● 個体情報

- ☐ 性格／持病／注意点の「ペット個別カルテ」の更新
- ☐ 写真記録を常時保存

5. 避難／保護ルール

- ☐ 避難時はキャリー優先、リードの二重固定
- ☐ 多頭の場合は安全確保を優先し順に移動
- ☐ 避難先候補:近隣の公共施設／協力サロン／動物病院
- ☐ 連絡不可の飼い主のペットは、店舗責任で安全保護

6. 事業再開(復旧)手順

- ☐ 店舗の安全点検(電気／ガス／水道／建物)
- ☐ 器具／床／ケージの清掃／消毒
- ☐ 設備復旧の目処を確認
- ☐ 再開可能か判断し、SNS／顧客へ一斉連絡
- ☐ 事故／破損などの記録、保険会社へ報告

7. 保険／協力体制

- ☐ 賠償責任保険、休業補償保険の加入確認
- ☐ 近隣サロン／病院との協力連絡先一覧を常備
- ☐ その他

3-④ 防災グッズの確認

地震、火山噴火、津波…、自然災害はいつ起こるか分かりません。避難所での生活に最低限必要なものをいつでも持ち出せるように、非常用持ち出し袋を準備しておきましょう。また、犬、猫と一緒に避難するときに便利な避難グッズを準備しておけば安心です。

1. 非常持ち出し袋(ペット用)

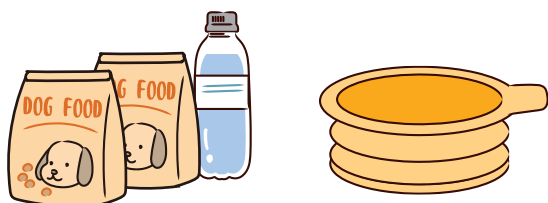


- ①非常用持ち出し品をリュックにまとめておく。
- ②出入口近くなど、持ち出しやすい場所に非常用持ち出し袋を備え付けておく。
- ③薬や食品は年に1回(例:年末に)、消費期限を確認し古くなったものは交換する。

避難時に備え、ペット用の飲料水には「ペット用」と明記しておくことをおすすめします。避難所では飲料水が不足することもあり、周囲との誤解やトラブル防止につながります。また、大規模災害時にはゴミ収集が停止する場合があります。排泄物の処理や一時保管のために、防臭機能のある袋を備えておく衛生管理に役立ちます。

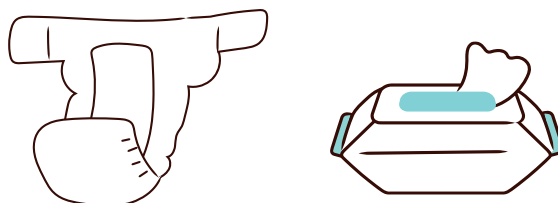
非常持ち出し袋チェックリスト(ペット用)

☐ ①フード・水・折り畳み食器



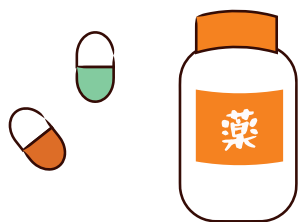
アレルギーの有無を事前に確認。アレルギーの少ないフードの用意を。食器は軽くて割れないコンパクトなものがおすすめです。

☐ ②衛生用品



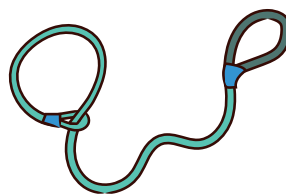
赤ちゃん用おむつがあるとペットにも代用できます。排泄処理に使用。断水に備え、ティッシュだけでなくウエットティッシュもあると安心です。

☐ ③お預り中の常用薬



治療に必要な薬がある場合は、忘れないようにしましょう。

☐ ④予備のリード



首輪とリードが一体化したスリッパリードがおすすめです。